



市総体 表彰式

◆6月26日(金)

6月3日(水)球技の部を皮切りに開催された佐伯市中学校総合体育大会が6月17日(水)の相撲競技で終了しました。3年生は、最後の大会になるかもしれないという強い決意で大会に臨みました。

全体の結果を受け、市総体の表彰式および表彰納め式を行いました。チーム南中としての一体感を感じてもらい、互いの健闘をたたえるために本校の部活動だけでなく、クラブチームの生徒の結果も全体の場で披露しました。本校からは部活動として、女子バレー部、女子卓球部、即席の相撲部が団体優勝、陸上部女子のリレーが優勝しました。さらに、クラブチームから参加した生徒もすばらしい成果を収めています。7月21日から開催される大分県中学校総合体育大会に各競技の佐伯市代表として出場します。



期末テスト 終了⇒「自己調整力」



◆6月26日(金)

24日(水)から三日間の日程で行われた期末テストが終わりました。1年生にとっては初めての期末テストということもあり、緊張感のある期間になった人もいるのではないかと思います。テストは、これまでの自分の勉強を振り返る最高のチャンスです。学校だより第6号で紹介した「自己調整学習」を実践する絶好の機会でもあります。「間違えた問題をやり直し、理解できるまで考え抜いたか」「これまでのテスト対策や、普段の授業への取り組み方はどうだったか」など、自分と向き合ってみましょう。

点数も気になる場所ですが、本当に大切なのはそのあとです。結果を受け止め、振り返りを繰り返していくプロセスこそが、次につながる確かな学習へと発展し、大きな成長につながるはずです。

では、具体的に何から始めればよいのでしょうか。まずは、今回のテストで「あと一歩だった問題」を一つ見つけ、自学ノートに書き直して試してみることから始めましょう。

「できた!」という実感を積み重ねることが、次のテストへの大きなモチベーションになります。先生たちも、皆さんの「わかった!」が増えるよう、全力でサポートします。一緒に一歩ずつ進んでいきましょう。

ご家庭におかれましても、テストが返却された際は、点数の良し悪しだけで判断するのではなく、お子様がこれまで努力してきたプロセスや、これからの課題に目を向けて声をかけていただければ幸いです。

結果を成長の糧にできるよう、学校と家庭とで連携しながら、子どもたちの主体的な学びを温かく支えてまいります。